

目標達成計画

作成日: 令和 5年 10月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------------|--|---|--------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 (13) | 【災害対策】 年2回の法定訓練は実施できているが、自然災害想定 の訓練は行われていない。自然災害に備えて訓練が 必要。備蓄品(食料)は法人に備蓄されていて水のみ事 業所内に蓄えてある。水以外の食料品も事業所内に 備蓄が必要。業務継続計画(BCP)である今、見直し が求められる。 | ①自然災害想定 の訓練を実施し、 問題点と課題を 分析する。 ②業務継続計画 (BCP)を策定し たものを訓練に 活かす。 ③災害時用に事 業所内に食料の 備蓄品を準備す る。 | | 12ヶ月 |
| 2 | 40 (15) | 【食事を楽しむことのできる支援】 献立・食材調達・調理は法人である病院で行って いる。事業所内では炊飯・汁物の盛り付け、キザミ 食等の調理を行っている。食事が摂り難くなって きている利用者が増えてきている為、法人以外か らの食事提供が難しい。食事を楽しむことが出 来るとなると援助が課題になっている。 | ①健康状態に 合わせ多様な食 事形態で提供し 、食べる事が継 続できる。 ②調理中の匂 い・音、料理の 色、季節の物 など食欲をそそ る取り組みを行 う。 ③好きな物を 選んで食べられ るような催し物 を提供する。 | | 12ヶ月 |
| 3 | 20 (8) | 【馴染みの人や場との関係継続の支援】 新型コロナが第5類に移行後、徐々に面会や外出 (買い物・町内活動)出来るよう取り組んでいる。 家族から一時帰宅の希望があるが現在はまだ帰 宅できていない。 | ①家族に感染 対策を理解して もらい、実践で きるように対策 方法を伝え、一 時帰宅できる ように支援する。 ②地域との交 流の再開や外出 支援を行うこと で馴染みの関係 を継続させる。 | | 12ヶ月 |
| 4 | 33 (12) | 【重度化や終末期に向けた方針の共有と支援】 看取りについての研修は行っているが、事業所 内で看取りの事例はない。看取りの経験のない 職員に対して精神的な不安が無いようにフォロー が必要。 | e-ラーニング で「看取り実践 」の研修を行う。 (10月に実施) 。入居者が重度 化した際や終末 期の在り方につ いてその都度職 員間で話し合い を行い不安や困 難感をそのまま にしない。 | | 12ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。